

であいこうか

DEAI 16 KOKA
地域で活躍されている元気な方を紹介するコーナーです。

西出良蔵さん(土山町南土山)



自然の風景の再現に 魅せられ40年

近年の園芸ブームと共に若い世代や海外でも粋な趣味として注目されつつある盆栽。植物を相手に様々な技巧を施し自然の姿を鉢に再現する芸術です。そんな芸術に魅せられて40年の西出さん。思いつきで植えた松が大きくなり、育った時、何ともいえない大きな感動を受け、以来とりにこなり、ついには盆栽士の資格まで取得されました。

種から始まって一人前の盆栽になるまでは約10年かかるそう、途中病気が発生したり、自分のイメージに育たないなど苦労もあるようですが、それが子どもを育てるように育てた盆栽は300本にも上ります。盆栽は生き物が相手だけに作業の一つひとつに大きな意味があり、剪定一つをとってもいろんな考え方があり、深くなり、奥が深いです。そんな西出さんが



▲あいの丘文化公園のうつくし松

以前、せっかく資格を取ったのだから何かしたい、と考えたのが湖南市に自生する天然記念物「うつくし松」の栽培です。種から育てようとするこの栽培は非常に困難で、最初の3年間はすべて失敗に終わったのですが、研究を重ねた結果、成功、研究所等の専門機関以外では始めての成功だったそうです。今ではそのうつくし松が、あいの丘文化公園や青土ダムエコーパレイで見られます。西出さんは、同

教習コースで 交通ルールを学習

～柏木小学校交通安全教室～

6月12日、柏木小学校1年生が甲賀自動車教習所で交通安全について学びました。

この教室では、実際の自動車教習コースを使つての本格的な交通ルールを学習、安全な歩き方や、横断歩道の渡り方などを学びました。

児童は、初めはいろんなケースのいろんな交通ルールに少々戸惑いがちでしたが、教習所職員の方の丁寧な指導に納得、車は急に止まれないということをしっかり学んだようです。



▲かっこよく登場の白バイに目は釘付け



▲貴重な姿をカメラに

みなくち子どもの森に自生するササユリが、6月中旬頃から咲き始めました。6月14日には、ササユリの保全育成に関心を持つことを目的に鑑賞会が行われました。鑑賞会には、市内外から多くの愛好家が集まり、広大な緑の中で咲くピンクのササユリの美しさに魅せられました。これからも、多くの方に見守られながら、かれんに咲き続けてほしいものです。

かれんにササユリ開く

～みなくち子どもの森で～



▲ふるさとの緑を満喫

6月11日、伴谷保育園でふるさと探検が行われました。この事業は、伴谷保育園の園児が、自分たちの住んでいるところをみんなで歩き、いろんな発見をしようといわれているもので、1年間で伴谷学区全域を探検します。この日は、八田地区の探検の日です。地域の皆さんに活動が分かりやすいように「ふるさとたんけん」と書いた旗

を持って行きます。園児は家までつくってもらったおにぎりを風呂敷に包み、背負って八田公民館へ。ゲートボールのおじいちゃん、おばあちゃんに元気な挨拶をして出発しました。坂道が多くあり、少々難コースでしたが、園児は元気に探検、ふるさとの自然や、お友達と住んでいるところを巡り、楽しい探検となりました。

ふるさと探検に出発

～伴谷保育園～

甲南パーキングエリアに 新しい癒しのスペース

～信楽学園生がベンチランプを作成～



新名神高速道路甲南パーキングエリアには、広い公園が設けられ、立ち寄ったドライバーの疲れを癒す場となつています。そこにある12個の筒型のベンチ、信楽焼製の大きなもので迫力があります。柔らかいデザインや色合いが周囲の緑になじんでいます。このベンチは、信楽学園の子どもたちが力を合わせ、約半年をかけて作り上げた

労作です。子どもたちの思いのデザインでカットされ、それぞれが個性あふれる作品に仕上がっています。夜には中から柔らかな明かりが漏れ、あたりを幻想的な空間にしています。子どもたちの思いが詰まったあたたかいベンチ、これからもドライバーの疲れを癒やしてくれることでしょう。

自分だけの 手づくり草履

～甲南ふれあいの館なつかしの体験教室～



▲おばあちゃんからの手ほどき

草履は、日本の伝統的な履物のひとつです。今では和装の時の履物として、また、サンダルと名を変えて店頭で売られていますが、昔は当たり前のようにみんなが自家製の草履を履いていました。

6月7日、甲南ふれあいの館でそんななつかしい体験を味わう教室が行われました。

この日は、古き良き時代を味わおうとするお年寄りから、新しい履物感覚の若い世代の方まで多くの人が参加、編機や手足を駆使しながら、布草履やわら草履を作りました。

この草履作り、結構手強いようで少しでも気を抜くと編んでいるところが緩み、形がゆがんできます。最初のうちは、皆さん馴れない作業に悪戦苦闘でしたが、ベテランの方の手ほどきをうけながら全員が作り上げることができました。

最近、手作り草履は健康的な室内履きとして注目されています、自分で作った草履は一層気持ちよいことでしょうね。